

大形中学校 校長室だより 夢・希望・未来

令和5年3月10日

第31号



卒業記念合唱「道」を、卒業生全員が思いを込めて歌う！ 2023.3.9

式 辞（抜粋・要約）

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。加えて、九か年の義務教育の修了を、心よりお祝ひいたします。

思い起こせば、三年前、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が始まりました。中学校生活での制約を最も多く受けたのが、皆さんです。

しかし、そのような困難な状況においても、皆さんは「挑戦」の姿勢で学習活動に取り組んでいました。

皆さんが身をもって最上級生としての姿を下級生に示してくれたこと、これこそが最高学年としての三年生の存在意義や存在価値であったとも言えます。言葉には出さずとも、皆さんが下級生に託す思いは、必ずや引き継がれていくのだと確信しています。

全校で取り組む生徒会活動についても、その牽引役はやはり三年生でした。「挑戦〜新たな大中〜」のスローガンのもと、「学校生活の心得」を生徒自身の手で見直した取組は、まさにスローガンを体現したものでした。「生徒の手による学校づくり」の推進への期待も大きいものがありました。そして、その期待をはるかに超えるほどの成果を上げたくれたのが、中核となった取組である「心得の見直し」でした。

三浦生徒会長をはじめとした三年生リーダー、そして議論の際に核心を突く指摘を多くあげてくれた三年生の皆さんから、全校を引っ張るリーダーシップと学校づくりへの思いを強く感じ

ました。そのおかげで、おそらく他に類を見ないほど、心得の本質に迫った改定が成し遂げられたのだと思います。皆さんが、責任をもって「自己決定」した結果の大きな成果でした。

時代が急速に変化し、考え方や価値観の多様性が尊重される時代がやってきています。つまりそれは、個が尊重される時代とも言えます。そんな時代を生きる皆さんには、「自分らしさ」を大切に、これからの人生を歩んでもらいたいと願っています。

自分のよさや持ち味を大切にすること、すなわち相手のよさや持ち味を大切にすることでもありますが、つまり、多様性や個性が尊重される時代であればこそ、他者に対して寛容であることが求められるとも言えるのではないかと思います。個が尊重されるこれからの社会は、皆が共に生きる共生社会でもあるのです。

そしてもう一つ、「自分らしさ」とは、今ある自分のよさというだけではなく、ありたい自分の姿、言い換えれば「目指す姿」に向けた努力によって、新たな「自分らしさ」を手にすることができるといってもいいと思います。

自分を高めようとする努力を重ねるとともに、他者とのかわりも大切に、卒業後の人生をたくましく、豊かに歩んでいくことを期待しています。卒業生の皆さんの一層の飛躍を祈念し、式辞といたします。

令和五年三月九日

新潟市立大形中学校長 永井 一哉

送 辞（抜粹・要約）

在校生代表 玉木 恒成



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆さんは、常にリーダーとして大形中学校の先頭に立ち、色々な場面で私たちを導いてくださいました。

大空祭では「一致団結」をテーマに、先輩方が全校の中心となって準備してくださったおかげで、最高のパフォーマンスができありがとうございました。先輩方の努力に、心から感謝しています。そして、美しい歌声を全校に響かせた大地祭では、会場にいた全員に感動を与えてくださいました。一人一人が感情を込めて、一つの作品を創り上げようとしていた姿が今でも心の中に刻まれています。

また、今年度の生徒会では「学校生活の心得」の改正という大きな仕事を成し遂げました。校則という学校生活の基準を決める不安や難しさに対して真摯に向き合い努力していた姿があったからこそ大形中の歴史を塗り替えることができたと言えます。

私たち後輩は、先輩たちと創り上げたこの心得を引き継いで、よりよい大形中学校を創っていきます。

これから三年生の皆さんはそれぞれ違う道に進んでいかれます。未来への

期待と希望の反面、不安も感じていると思います。しかし、そんな時は、この大形中学校で過ごした三年間を思い出してください。きっと皆さんの未来を支える力になるはずですよ。

今までたくさんの方の学ばせていただいたことに感謝し、皆さんのさらなるご活躍、ご健勝をお祈りして、送辞とさせていただきます。

答 辞（抜粹・要約）

卒業生代表 三浦 千尋



春のかすかな訪れを感じる今日、私たちは三年間の中学校生活を終了し、大形中学校を卒業します。

あれから早三年が経ちました。十二歳の春、一人一人が不安と期待を胸に抱え、着慣れない制服を着て、この大形中学校にやってきました。

入学式では、自分の番を緊張しながら待ち、先生が呼んでくださった名前に、まだ幼さの残る声で返事をしました。何もかもが初めてだった一年、ただ全力で駆け抜きました。

学校生活にも慣れ、落ち着いた二年目。グループで新潟市をめぐる新潟探訪、チームワークで何とかたどり着いた目的地、仲間がいることの心強さや互いのよさを再発見できた一日でした。自分自身と向き合い、耐えるということの意味を考えさせられた完歩大会、

互いに励まし合ってゴールした瞬間の達成感は今では良い思い出です。

そして、義務教育最後の年である三年生、私たちは大形中学校の要、最高学年として歩み始めました。生徒会目標に「挑戦し新たな大中」を掲げ、学校生活の心得の見直しを行ってきました。

この最後の一年を振り返ると、楽しい思い出がたくさんあります。五月の修学旅行、コロナ禍でしたが、関西方面をめぐる旅でした。見るもの聞くものすべてが特別に思え、胸が高鳴りました。そして、大空祭。「一致団結」のスローガンのもと、青空が広がる中で、四つの連合が優勝を目指して競い合いました。ダンスパフォーマンスでは、各連合のリーダーたちを中心に全員で連合を盛り上げ、団結力の高いダンスを披露しました。勝敗よりも精いっぱいやり遂げることに力を注ぐことの大切さに気が付けました。

大空祭の熱も冷めきらない中で大地祭。各クラスとも、課題や葛藤を乗り越えて、個性があふれる合唱を創り上げることができました。

心を預けて取り組んだ二大高校行事は、とても印象深い思い出となりました。また、周りの仲間たちと本気になって挑戦したこと、さらに深い絆が生まれるきっかけになりました。

仲間たちやこの大形中学校に別れを告げることになりました。いつまでも共に過ごす時間が続くように感じているだけに、今になって寂しさがこみ上げてきます。

在校生の皆さん、私たちについてき

てくれありがとう。皆さんの存在が励みとなり、ときには大きな支えとなりました。三年間は、瞬く間に過ぎてしまいました。卒業する日に後悔することがないよう、一日一日を、そして仲間や先生方、家族を大切にして過ごしてください。皆さんの活躍を期待しています。

私たちをご指導してくださった先生方、職員の方、いつも生徒のことを思い、時には厳しく私たちを導いてくださり、本当にありがとうございました。熱いご指導と優しい言葉が私たちの大きな原動力となりました。先生方から学んだ仲間の大切さ、一生懸命に努力することの素晴らしさを私たちは決して忘れません。

また、地域の皆様には、学校行事や学校生活のたくさんの方々の協力をいただき、ありがとうございます。

卒業生の皆さん、中学校生活で多くの喜びを分かち合ってきましたが、今日で最後だと思ってもさみしいです。これからは、列々の道を歩いていくこととなります。ですが、皆さんと笑い合って過ごしたこの三年間を決して忘れることはありません。三年間ともに過ごしてくれて「ありがとう」。

今まで、どんな時も私の一番の味方であり、心休まる存在であった家族、私たちはその深い愛情に包まれ支えられ、ここまで成長することができました。ほんとうにありがとうございます。まだまだお世話になります、これからもよろしくお願ひします。

大形中学校の益々の発展を心からお祈りし、答辞とさせていただきます。